

G I O	S B O s	備考
I 診療情報について		
1.1	診療情報の特徴を説明できる	
	1.1.1 形態的特長を説明できる マルチメディア、時系列、欠損値、外れ値	
	1.1.2 取り扱い上の留意点について説明できる	※2.2、2.3と調整
1.2	診療記録の構成を列挙できる	
	1.2.1 診療録の構成を列挙できる	
	1.2.2 診療諸記録の種類を列挙できる	
1.3	各種診療記録の内容を理解している	
	1.3.1 各種記録に必要な項目が列挙できる 手術記録、リハビリ記録、指導記録（栄養、服薬）、照射録	
	1.3.2 看護記録に必要な項目と役割を理解している	
	1.3.3 各種診断書・計画書について理解している 病理診断書、入院診療計画書、退院療養計画書	
	1.3.4 退院時要約（サマリ）に必要な項目が列挙できる	
	1.3.5 説明と同意書が必要なケースが列挙できる	
	1.3.6 説明と同意書に必要な項目が列挙できる	
	1.3.7 がん登録に必要な項目が列挙できる	
1.4	経過記録の記載方法について理解している	
	1.4.1 診療記録の記載方法について説明できる	
	1.4.2 S (Subjective) 主観的情報について説明できる	
	1.4.3 O (Objective) 客観的情報について説明できる	
	1.4.4 A (Assessment) 医療職の判断について説明できる	
	1.4.5 P (Plan) 治療方針について説明できる	
1.5	オーダ情報の取り扱いについて理解している	
	1.5.1 各オーダ種に必要な項目を理解している 処方、注射、検体検査、生理検査、放射線、リハビリ、 食事、手術、処置、輸血、麻酔	
	1.5.2 処方記載ルールを理解している	
	1.5.3 予約オーダについて理解している	
	1.5.4 保険請求との関連を理解している	
II 医療情報倫理について		
2.1	医療倫理について理解している	
	2.1.1 守秘義務について説明できる	
	2.1.2 患者の権利について説明できる	
2.2	診療情報の取り扱いの留意点を理解している	
	2.2.1 一次利用について理解している	
	2.2.2 二次利用について理解している	
2.3	個人情報の取り扱いについて理解している	
	2.3.1 個人情報保護法の概要を理解している	
	2.3.2 医療・介護関係事業者における個人情報の保護に関するガイドラインについて理解している	
2.4	アクセス権限について理解している	
	2.5.1 必要性を説明できる	
	2.5.2 職種別のアクセス管理方法を理解している	
III 医療情報システムについて		
3.1	医療情報システムの仕組の基本を理解している	
	3.1.1 病院情報システムの構築手法について理解している	
	3.1.2 部門システムの構成について理解している	
3.2	マスタファイルについて理解している	
	3.2.1 種類と役割について理解している	
	3.2.2 標準マスタについて理解している	
3.3	情報共有の仕組が理解できる	
	3.3.1 共有化の利点を理解している	
	3.3.2 院内部門間連携における情報共有を理解している	
	3.3.3 地域医療連携における情報共有を理解している	
	3.3.4 情報共有を支えるネットワーク技術について理解している	
	3.3.5 情報共有を支えるセキュリティ技術について理解している	
3.4	標準化の必要性について説明できる	

G I O	S B O s	備考
	3.4.1 標準化の利点を理解している	
	3.4.2 地域医療連携のために必要な標準化について説明できる	
	3.4.3 用語・コードの標準を列挙できる ICD-10、JLAC10、その他のMEDISマスタ、J-MIX	
	3.4.4 医療情報交換のための標準を列挙できる DICOM、HL7	
	3.4.5 病院業務の標準化について理解している IHE	
	3.4.6 医療分野の標準化を推進する体制を理解している 厚生労働省、MEDIS-DC、HELIX	
3.5	各職種領域の標準化について説明できる	
	3.5.1 各職種領域の用語・コードの標準について説明できる 医師、看護師・助産師・保健師、薬剤師、臨床検査技師、 診療放射線技師、理学療法士・作業療法士、臨床工学技士、 診療情報管理士	
	3.5.2 各職種の一般的な業務について説明できる	
3.6	セキュリティ機能について理解している	
	3.6.1 診療情報の保護について説明できる	
	3.6.2 個人情報保護のためのセキュリティ機能を理解している	
	3.6.3 電子保存の3基準を理解している	
	3.6.4 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの概要を 理解している	
	3.6.5 基本的な技術的セキュリティ対策について説明できる ウイルス対策、ソフトウェアアップデート、ユーザ認証	
IV病院の基本事項について		
4.1	病院の部門と役割を列挙できる	
	4.1.1 部門とその役割を列挙できる	
	4.1.2 診療科とその特性を列挙できる	
4.2	病院の部門内の情報の流れを説明できる	
	4.2.1 オーダを受けた後の部門内処理の流れを説明できる	
	4.2.2 部門内での情報管理について説明できる	
4.3	病院の部門間の情報の流れを説明できる	
	4.3.1 オーダの流れを説明できる	
	4.3.2 予約の流れを説明できる	
4.4	外来業務の流れを説明できる	
	4.4.1 患者動線を説明できる	
	4.4.2 関与する部門を説明できる	
	4.4.3 情報の流れを説明できる	
4.5	入院業務の流れを説明できる	
	4.5.1 患者動線を説明できる	
	4.5.2 関与する部門を説明できる	
	4.5.3 情報の流れを説明できる	
	4.5.4 ものの流れを説明できる	
V電子カルテの基本事項について		
5.1	電子カルテの機能要件を列挙できる	
	5.1.1 運用面における機能要件を列挙できる 24時間稼働、セキュリティ機能	
5.2	電子保存の要件を説明できる	
	5.2.1 電子保存の3基準を列挙できる	
	5.2.2 真正性について説明できる	
	5.2.3 見読性について説明できる	
	5.2.4 保存性について説明できる	
5.3	電子カルテの利点を列挙できる	
	5.3.1 情報の共有	
	5.3.2 インフォームドコンセント	
	5.3.3 データの後利用	
	5.3.4 医療の評価	
	5.3.5 長期保存	
	5.3.6 地域医療連携	

GIO SBOs	備考
5.4 電子カルテの問題点を列挙できる	
5.4.1 医師入力負担	
5.4.2 トラブル	
5.4.3 経費	
5.4.4 システムの標準化	
5.5 職種ごとに必要な機能を列挙できる	※電子カルテ導入前後の変化も
5.5.1 医師	
5.5.2 看護師・助産師 勤務管理機能	
5.5.3 保健師	
5.5.4 薬剤師	
5.5.5 臨床検査技師	
5.5.6 診療放射線技師	
5.5.7 理学療法士・作業療法士	
5.5.8 臨床工学技士	
5.5.9 栄養士・管理栄養士	
5.5.10	
VI医療情報技術者の能力として	※医療情報技師等の用語は統一
6.1 電子カルテシステムの要求仕様書が書ける	して使用する
6.1.1 病院業務分析の必要性を説明できる	
6.1.2 要求仕様の必要性を説明できる	
6.1.3 要求仕様を含むべき項目を列挙できる	
6.2 電子カルテシステムのインターフェースを設計できる	
6.2.1 GUI画面を設計できる	
6.2.2 入力チェック機能を設計できる	
6.2.3 入力方法の種類・機能について利点・欠点を理解している プルダウン、ポップアップ、キーボード操作、マウス操作	
6.2.4 デザイン設計の基本を理解している 統一性、ユーザビリティ	
6.3 電子カルテ用データベースを設計できる	
6.3.1 リレーショナルデータベースの基本を理解している	
6.3.2 キーの設定とグルーピングを理解している	
6.3.3 データベースの役割について理解している データそのもの、システム管理に必要なデータ	
6.4 電子カルテシステムの開発手順がわかる	
6.4.1 システム開発モデルについて利点と欠点を知っている	
6.4.2 プロジェクト管理の重要性を理解している	
6.5 電子カルテシステムの導入手順がわかる	
6.5.1 運用テスト・リハーサル的重要性を理解している	
6.5.2 利用者教育の重要性を理解している	
6.6 電子カルテシステムの運用手順がわかる	
6.6.1 運用管理規程の重要性を理解している	
6.6.2 部門ごとの運用マニュアルを作成できる	
6.6.3 ユーザ管理の重要性を理解している	
6.6.4 障害対応の手順を説明できる	
6.7 電子カルテシステムの導入・運用管理に必要なコミュニケーション能力について理解している	
6.6.1 職種間のコミュニケーションがとれる	
6.6.2 ベンダとのコミュニケーションがとれる	

GIO	SBOs	備考
VII電子カルテシステムの操作について		
7.1 電子カルテシステムの基本操作の流れが理解できる		
7.1.1 外来の流れ		
7.1.2 入院の流れ		
7.1.3 事務の流れ（基本登録、受付、会計、レセプト）		
7.1.4 医師の流れ		
7.1.5 看護の流れ		
7.1.6 各専門職の流れ		
7.1.7 オーダ入力		
7.1.8 所見入力		
7.2 利用するシステムの操作を理解できる		
7.2.1 操作説明書が作成できる		
7.2.2 利用するシステムの操作指導ができる		
7.2.3 職種ごとの操作メニューが作成できる		
VIII統計処理・データ分析について		
8.1 基本的な集計・分析ができる		
8.1.1 データの種類と特徴を説明できる		
8.1.2 記述統計の基本を理解している（推測統計は含めない）		
8.2 病院管理のための情報分析ができる		
8.2.1 病院管理のための指標が出せる		
DPCデータ分析、臨床評価指標作成		
8.2.2 病院管理のための資料作成ができる		
8.3 各部門の診療情報の分析ができる		
8.3.1 部門業務の分析ができる		
8.3.2 医療安全対策に活用できるデータが作成できる		
IX電子カルテシステムの評価について		
9.1 評価項目を列挙できる		
9.1.1 ユーザインタフェースについて		
9.1.2 データの後利用のしやすさについて		
9.1.3 費用について		
9.1.4 保守性について		
9.1.5 部門システムとの連携のしやすさについて		
9.1.6 他のシステムとの連携のしやすさについて		
9.1.7 性能評価項目について（レスポンスタイムなど）		
9.1.8 セキュリティ機能について（電子保存の3基準達成度など）		
9.1.9 遠隔利用の機能について（在宅医療など）		
9.1.10 安全性について（同姓同名、処方、排他などのチェック機能）		

※大江班の評価系参照